



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所
 コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平綿孝之
 (氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,173	4.1	1	△95.9	17	△64.5	8	△80.5
27年3月期第1四半期	1,127	19.5	40	—	48	—	45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	0.19	—
27年3月期第1四半期	0.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,469	3,520	54.4
27年3月期	6,640	3,511	52.9

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 3,520百万円 27年3月期 3,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,370	3.6	70	47.4	70	38.4	50	14.7	1.05
通期	5,280	7.3	210	206.4	200	190.4	150	260.0	3.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	48,849,935 株	27年3月期	48,849,935 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,047,708 株	27年3月期	1,047,708 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	47,802,227 株	27年3月期1Q	47,802,246 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策の継続により企業収益・雇用環境は緩やかな回復基調が続きました。一方で、円安定着によって消費者物価が上昇傾向にあることで個人消費の回復テンポが弱く、また、原材料価格の上昇等により依然として先行きが不透明な状況にあります。

このような状況のなか、当第1四半期の売上高は、LPガス容器用弁は、季節要因における閑散期に入ったものの、FRP容器用の新製品投入及びベトナム向け輸出が増加した為、数量、金額ともに前年同期比増加いたしました。LPガス鉄鋼製装置用弁はプラント開放検査が旺盛に推移した為増加し、また、海上輸送用弁も造船市況の回復が継続していることにより増加いたしました。

以上により、売上高は1,173百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

収益面につきましては、前期より継続しております経費削減努力をさらに強化いたしました。LPガス容器用弁の主要材料であります黄銅材の価格が前年同期比で1.5%上昇したことや、輸入資材の値上り、労務費その他経費が増加したことにより、営業利益は1百万円(前年同期比95.9%減)、経常利益は17百万円(前年同期比64.5%減)、四半期純利益は8百万円(前年同期比80.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、226百万円減少して3,112百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少43百万円および受取手形及び売掛金の減少143百万円並びに棚卸資産の減少48百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、55万円増加して3,356百万円となりました。これは主に、投資有価証券の増加50百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、171百万円減少して6,469百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、141百万円減少して1,330百万円となりました。これは主に、賞与引当金の増加28百万円による一方で、支払手形及び買掛金の減少66百万円および短期借入金の減少49百万円並びに流動負債(その他)の減少34百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、38百万円減少して1,618百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少38百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、179百万円減少して2,949百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、8百万円増加して3,520百万円となりました。これは主に、利益剰余金が四半期純利益の計上により8百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の52.9%から54.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月8日発表の「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	951,449	908,035
受取手形及び売掛金	1,156,391	1,012,979
商品及び製品	813,706	720,157
仕掛品	55,449	53,435
原材料及び貯蔵品	307,391	354,737
その他	56,976	65,095
貸倒引当金	△1,515	△1,515
流動資産合計	3,339,849	3,112,924
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	116,966	114,202
構築物(純額)	35,807	34,950
機械及び装置(純額)	137,327	130,949
車両運搬具(純額)	405	855
工具、器具及び備品(純額)	6,371	10,534
土地	2,506,900	2,506,900
リース資産(純額)	2,826	2,492
建設仮勘定	2,357	8,556
有形固定資産合計	2,808,963	2,809,440
無形固定資産		
投資その他の資産	47,902	44,384
投資その他の資産		
投資有価証券	173,021	223,958
破産更生債権等	3,742,900	3,742,900
その他	274,877	282,604
貸倒引当金	△3,746,763	△3,746,763
投資その他の資産合計	444,036	502,700
固定資産合計	3,300,902	3,356,525
資産合計	6,640,751	6,469,450

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	612,432	546,259
短期借入金	199,900	150,000
1年内返済予定の長期借入金	270,560	255,440
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	14,684	11,668
賞与引当金	43,533	71,640
その他	290,798	255,880
流動負債合計	1,471,909	1,330,890
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	391,490	353,360
再評価に係る繰延税金負債	774,262	774,262
退職給付引当金	378,671	382,356
役員退職慰労引当金	51,857	48,569
その他	40,808	39,673
固定負債合計	1,657,090	1,618,223
負債合計	3,129,000	2,949,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,507,423	1,993,096
資本剰余金	1,549,401	-
利益剰余金	△3,063,727	8,851
自己株式	△157,214	△157,214
株主資本合計	1,835,882	1,844,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,620	31,354
土地再評価差額金	1,644,249	1,644,249
評価・換算差額等合計	1,675,869	1,675,603
純資産合計	3,511,751	3,520,336
負債純資産合計	6,640,751	6,469,450

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,127,096	1,173,231
売上原価	917,320	996,814
売上総利益	209,775	176,417
販売費及び一般管理費	169,753	174,785
営業利益	40,021	1,631
営業外収益		
受取利息	321	49
受取配当金	1,113	1,113
不動産賃貸料	1,383	2,192
スクラップ売却益	1,519	576
受取和解金	300	300
損害保険金収入	8,906	17,817
その他	1,428	2,790
営業外収益合計	14,974	24,839
営業外費用		
支払利息	2,631	3,458
社債利息	190	114
手形売却損	2,903	3,614
その他	805	2,062
営業外費用合計	6,529	9,249
経常利益	48,465	17,221
特別損失		
固定資産除却損	17	0
特別損失合計	17	0
税引前四半期純利益	48,448	17,221
法人税、住民税及び事業税	3,161	8,369
法人税等合計	3,161	8,369
四半期純利益	45,287	8,851

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成27年6月26日開催の定時株主総会決議に基づき、資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を実施しております。

① 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を解消し、財務体質の健全化及び今後の機動的かつ効率的な経営を維持するための資本政策を実現するため、並びに株主の皆様へ早期での復配を目指すことを目的としております。

② 資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額の減少の内容

a) 減少する資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額

資本金	1,514,326千円
資本準備金	1,541,410千円
利益準備金	5,000千円

b) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	3,055,737千円
繰越利益剰余金	5,000千円

③ 剰余金の処分の内容

a) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	3,063,727千円
----------	-------------

b) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	3,063,727千円
---------	-------------

上記の結果、当第1四半期累計期間において資本金が1,514,326千円及び資本剰余金が1,549,401千円減少し、利益剰余金が3,063,727千円増加しております。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。